

2011 年

2 月 20 日（日曜日） 交流を支える核に - 峰山高校同窓会京都支部 20 周年記念会 -

本日、峰山高校同窓会京都支部の 20 周年記念懇親総会が京都市内で開催されました。井塚支部長はじめ代々の役員、会員の皆様には、常日頃から母校とふるさと発展に思いを寄せていただき、ふるさとを陽に蔭にお支えをいただいておりますことに、心から感謝を申し上げる次第です。

峰山高校は、ご創立 87 周年、同窓会京都支部は 20 周年を迎えられ、同窓生は何と 2 万 7 千名以上にのぼられるとお聞きし、多くの本市出身の方々が様々な分野でご活躍されとても心強く感じています。

本市においては、社会経済的に概して厳しい状況から抜けきれない中で、今の状況をなんとか踏ん張りきって、同時に、未来開拓のための基盤整備に様々に取り組んでいますが、昨年は、森本工業団地の竣工や世界ジオパークの認定、光ファイバーネットワーク・ケーブルテレビの開設など、少しずつ、成果が生まれつつあります。ただ、まだまだ課題が多いのが現状ですが、各種基盤整備とともに活性化のカギとなるのが、“力の結集”であります。市民の皆さんとの協働・共創をはじめ、国や府、仲間の自治体、関係諸機関の皆さん、そして、このように域内外の皆さんと交流し力を結集していく。

そんな中で、本日お集まりの皆さんのように、本市の地元の高校を卒業され京阪神はじめ全国各地、様々な分野で活躍をされ地元の応援団となっただいていただいている皆さんこそが、本市と域内外の皆さんとの交流の中心になっていただいているお支えの一つとして心から感謝を申し上げるものですし、今後とも、ますます交流を推進していく大きな支え、力になっていただきたいと心から期待をしています。